

「みえる」を追求し、磨いたJapan Qualityの製品をお客さま一人ひとりに安定的にお届けします。

シードは、基礎研究から製品開発、製造、販売をすべて自社で行う国内一貫生産にこだわってきました。この体制が、製品の品質を担保し、お客さまへの安定供給を可能にしています。そして、Japan Qualityの製品とサービスは世界50カ国以上の国と地域でお客さまの「みえる」を支えています。

多様な製品・事業展開

シードは、多くのお客さまの「みえる」をサポートするために、約40種の製品をラインアップしています。ハードコンタクトレンズ、使い捨てコンタクトレンズ、乱視用、遠近両用、サークルレンズ、動物用コンタクトレンズに加え、虹彩欠損症患者さま向けの虹彩付きソフトコンタクトレンズ等、多様なニーズにもきめ細かに対応する製品を展開。さらに、シードPureでは国内最大幅の度数ラインアップを実現し、一人ひとりの眼に寄り添った製品を提供しています。



Japan Quality

シードの生産拠点である鴻巣研究所では、高精度な全品検査体制によって徹底した品質管理を行っており、厳選された製品のみをお届けしています。2次元コードやIDタグによる一元的な生産・流通管理により、すべてのレンズにおけるトレーサビリティ（追跡調査）を可能にし、医療機器メーカーとしての品質を厳格に管理しています。さらに、製品の品質向上を目的としたTQC (Total Quality Control) も積極的に実施しており、歩留まり率の向上やコスト削減等にも寄与しています。



積極的な研究開発

シードは、オルソケラトロジーレンズをはじめとした医療用コンタクトレンズ、内視鏡フード等のコンタクトレンズの技術を応用した他分野の医療機器・ソリューションの実用化に向け、世界4カ所の開発拠点と協働しながら、挑戦を続けています。さらに、国内外の様々な企業、大学、研究機関とも共同研究を実施し、画期的な次世代製品の開発を目指しています。



執行役員
生産技術本部
副本部長
木村 真樹

主力製品であるシードPureは開発、製造、販売をすべて自社で行う国内一貫生産が特徴です。製造拠点である鴻巣研究所では品質管理を徹底した、高品質な製品をお客さまに届けるよう努めています。

多様な「みえる」喜びを創造する社会の実現に向けて、社員一人ひとりが社内外の関係者への思いやりを大切にするとともに、自らを成長させるための自己研鑽に積極的に取り組む向上心を持っていることが、当社の強みです。



人事教育部 課長代理

私たちが考える シードの 強みとは？

2024年10月に新たにパーパスを策定しました。社員一人ひとりが多様な「みえる」喜びを創造できる社会を実現するために日々業務に取り組んでいます。



国際事業本部 主任

Made in Japanの高い品質へのこだわりは、国際市場での競争力につながっていると感じます。温かい社風のなかで、若手社員も様々な経験を積みながら成長できる環境が整っていることも魅力の一つです。

コーポレートコミュニケーション部
広報課 主任

先進的な技術開発に挑む、チャレンジ精神がある会社です。互いを尊重し、部署を越えて協力し合う社員が多いところがシードの強みです！



コーポレートブランディングに向けた社員との対話を実施！

パーパスの浸透と組織文化の醸成を目的に、経営と現場の対話を促進する「パーパスクロストーク」や、組織文化調査を踏まえた課題解決を推進する「管理職ワークショップ」を実施しています。パーパスへの理解・共感を深め、社員の主体的な行動を促すことで持続的な企業価値向上を目指しています。

